

Rakuhoku

**HANKYU
SQUARE**

洛北阪急スクエア

- ➡ 所在地：京都市左京区高野西開町36番地
- ➡ 業態：複合商業施設
- ➡ 運営：株式会社阪急商業開発 洛北事業部
(京都市左京区高野西開町36番地)
- ➡ URL：<https://hankyu-square.jp/>

＜地域・社会貢献に対する取組方針＞

エイチ・ツー・オー リテイリンググループの基本理念「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくてはならない存在であり続けること」のもと、お客様および株主の皆様をはじめ、お取引先、従業員といったステークホルダーの期待にお応えするとともに、社会全体に対し貢献することが企業としての存在意義であると考えています。

～洛北阪急スクエアとSDGs～

「サステナビリティフェア」で地域を知るきっかけづくり

来館客が増加する春休み期間に、地元左京区で活動されている団体、企業による物販、ワークショップを開催し、地域住民とのふれあい交流のきっかけづくりを行いました。

■ 地元左京区の団体・企業が多数出店

左京区を中心に活動している14団体に出店していただきました。お買い物に来られたお客様が気軽に立ち寄られ、今まで関心が無かった地域のことに対する出会いの機会が生まれました。

■ 出店店舗

出店者様からは、お客様と接することで地域とのつながりを感じることができたというお声をいただきました。



①地球Labo・・生ごみを堆肥に変えるコンポストキットを販売しました。



②モス広河原・・京都市左京区広河原の苔を使ったモシリウムを販売しました。

③社会福祉法人「修光学園」・・手作りパンの販売を行いました。

■ 出店につなげたきっかけ・成果

洛北阪急スクエアの営業販促部から、左京区役所の協力を得て、各団体様の出店につながることができ、さらに各団体のつながりからも、出店いただく団体様の輪が広がりました。

また、同区役所が行う地元企業が集まる「まちづくり交流会」でも、フェアの周知広報出店者様にとって、団体活動を知ってもらえる機会や、販売活動の場を提供できる機会となりました。

フェア当日は、一般社団法人「京都わかくさねっと」様が参加され、活動の普及・啓発を行いました。

洛北阪急スクエアでは、こうした取組について、今後もプラッシュアップし、継続して開催していく予定です。地域の皆様の交流場所としての役割を担っていきたいと考えています！



～すべての世代に、心地いい居場所を～

「子育て世代が集まるイベント」から 地域とつながる

お子様連れで訪れやすい施設となるため、遊び場、授乳室、幅の広い通路などの施設面の充実はもちろん、お子様向けの体験イベントを不定期で開催しています。

■ 「洛北阪急スクエア」だからできる体験を創る

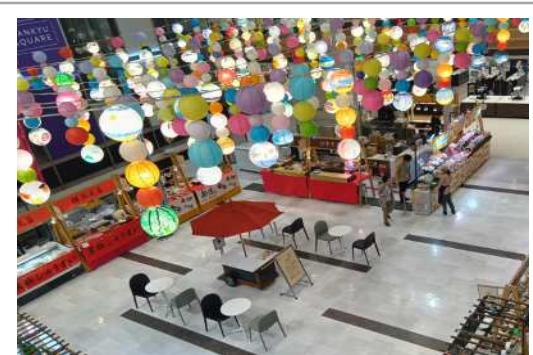
年間を通じ、地下1階センタースクエアや各店舗で、様々な学びにつながる体験、ご家庭ではできない体験を企画・開催しています。

特にゴールデンウイークや夏休み等の大型連休には、積極的にご家族で楽しんでいただけるワークショップを開催しています。

■ 子どもから家族へ、家族から地域へ（商業施設からまちへ）

お子さんに関連したイベントに、ママ友や祖父母の方が来ていただく、そうした家族でのお買い物ついでにお子さんを連れていきやすい環境を作ることで、当館は、すべての世代の方々にご来館いただいている。

今後もすべての世代が立ち寄れる場所として、取組を続けていきます。



～夏のランタンアートギャラリー～
(7/16(水)～8/24(日))
地元養正小学校のご協力で、ランタンにペイントし、施設内に飾りました。



①風鈴絵付け体験・・夏休みに地元ガラス作家の方をお呼びし、延べ100名弱の方が参加されました。

②段ボールめいろ・・夏休みに縁日を開催し、その催しの一つとして、段ボールめいろを設置しました。



※画像はイメージです。

～取材者ひとこと～

2019年（平成31年）12月に大きくリニューアルされる以前から、左京区を代表する商業施設として地域に根差した運営をしてこられた洛北阪急スクエアさん。地域の方以外でも、足を運ばれた方は多いのではないでしょうか。

今回ご紹介したイベント等はごく一部ですが、地域の情報発信や機会の創出にチャレンジされ、また、子どもたちの流行や来館者のニーズを捉えた企画を実施できるよう工夫されており、地域とともに歩むこれからの商業施設の姿が現れています。

今後も、生活を支える買い物の場としてはもちろんのこと、地域社会やコミュニティの結節点として、楽しくあたたかい施設づくりを継続され、地域とともに成長を続けていかれることを期待しています。